

市立病院のことを市長が聞いたのは納期を27日も過ぎたあと!?

ついに市政と議会が大きく動きました



市議会議員
村上かずしげ

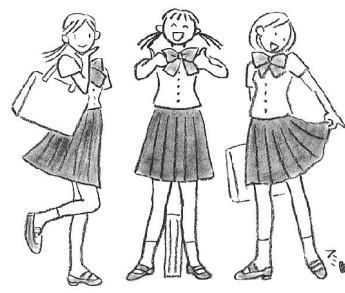
村上議員はこの間、毎議会のように「3月支給に切り替えよ」と

六月議会の一般質問(市民連・岡田議員)で、「31年度の中学生入学生から、就学援助の入学準備金を3月に支給することを検討する」との答弁がありました。経済的に厳しい家庭の子どもの就学を保障するのが就学援助で、生活保護基準額の1・2倍の家庭まで支給されます。中学入学時には、「入学準備金」が支給されますが、これまでは入学後の4月しか支給されていませんでした。

**就学前の子ども
医療費も来年四月
から無料になります。**

就学援助 中学 入学準備金前倒し支給へ前進

求めてきました。小中のどちらも入学前支給をしていない市は道内に四市しかありません。粘り強い議会の追及で、他党派の議員も前倒しを求めるように変化、市もとうとうシヤッポを脱いで、入学前支給にかじを切り替えました。



そして一番は、市長が事態を知ったのは4月18日だということ。副市長が知ったのが3月26日、副市長は市長に報告さえしていません。これだけの巨大プロジェクトなのに、市長が事業の進捗状況さえ知らず、破たん直前に初めて知ったなど、誰が聞いても理解不能な話です。議員の中でも「加計学園みたいになってきた」と大騒ぎです。

2つ目は納期限を4月23日に延長した文書が市役所内に存在することです。これでは、いくら市が3月で期限が切れたと言っても説得力はありません。ひとつは事業者と市の言い分が違う積算単価です。調整率と言う補正係数を見積りに掛て事業費を積算します。事業者は納期限(3月23日)の前日に新しい調整率が示されたと言っていますが、今回の答弁で市は契約直後に調整率について指示した文書があると答弁しました。この文書は市民に公開されていません。ただちに公開すべきです。

今議会の最大の焦点は市立病院の着工延期、「どうしてこうなったのか」と市民も疑問に思っています。しかし与党派は裁判に影響があるからと、問題の核心にはふれずに新棟を早くつくれと質問。これでは市民の疑問に答えられません。行政をチエックするのは議会の一番の仕事です。共産党議員団は一般質問で真相に迫りました。



釧路新聞 6月16日付

■市長の責任は重大、辞職すべき
実施設計の前渡金と違約金を求めて市は裁判をしますが、実はその前にできあがっていた1億円を超える基本設計費は、全く無駄金になります。返金も求めず、誰も責任を取ろうとしません。基本設計の損失、市長の答弁だとしても、まともに進捗状況さえチエックしなかった職務怠慢。そして事業破たんの結果責任。村上議員は、「潔く職を辞すことも含めて責任を取れ」と市長に迫りました。

参院選 投票方法 解説

2回投票します

1回目 選挙区選挙は候補者名

2回目 比例代表選挙は政党名

紙 智子

参議院議員 (比例区予定候補)

アベ首相の改憲を許しません



前衆議院議員 (選挙区予定候補) はたやま和也